

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名) 日本の伝統文化	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 野田 和代	当該科目に関する実務 経験 保育士
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	幼稚園教諭専攻科 後期	必修・選択 選択
[授業の目的・ねらい及び概要] ・自分の生まれ育った国・地域の伝統や文化の特質を知り、保育者として、未来を生きる子どもたちに、伝承・口承していく役割担うことを意識し、学びを深めていく。また、日本の四季の変化や自然の美しさを再発見し子どもへの保育・幼児教育を通し五感を豊かに育むことができる情緒豊かな感性を育む。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1・日本という国の地形と気候、四季の変化 2・四季の移り変わり暮らし 3・日本の暦と伝統行事(春) 4・日本の暦と伝統行事(夏) 5・日本の暦と伝統行事(秋) 6・日本の暦と伝統行事(冬) 7・日本の歴史①時代の区分 8・日本の歴史②おおきな流れ 9・日本の歴史③文化の歴史 10・伝統芸能(能・歌舞伎・文楽など) 11・伝統芸能(芸道)茶道と華道 12・日本の衣生活(着物文化) 13・日本人の宗教観 14・日本の住まいと暮らし 15・まとめ			
[使用テキスト] ・各回テーマにそった資料を配布する			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考査点(75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考査を実施する。 ・ 平常点(25%) ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。			